

体育・スポーツ教育研究

第8巻 第1号

(九州の大学体育・スポーツ 第33号)

教育研究論文

- 「健康科学実習」における救急法（心肺蘇生法）導入に対する学生の評価
[石原 一成 ほか]
- インドネシアにおける障害児体育の現状と教育協力支援
[柿山 哲治 ほか]

体育・スポーツ教育

- 提言 大学における保健体育教員の倫理
[徳永 幹雄]
- 特別講演 関東の大学におけるスポーツ教育の新たな展開
[沼澤 秀雄]
- 招待講演 アリゾナ州立大学における体育, スポーツ事情
[Miya Kato Rand, Ph.D.]
- シンポジウム
 - 今, 大学体育に求められるもの——社会・大学・学生の視点——
[福本 敏雄]
 - シンポジウムを振り返る
[福本 敏雄]
 - 科研費企画調査のデータから——日常生活への般化を目指した水中運動授業の試み——
[正野 知基]
 - 大学職員の視点から
[宝来 隆]
 - 学生の視点から
[淵田 吉男]
- 研究発表
 - 大学生に対する生活習慣病予防の一次予防指導について～体力と身体活動水準に関する疫学的知見～
[山崎 先也]
 - 健康科学を導入した体育実技の選択理由と授業評価について
[角南 良幸 ほか]
 - 体育・スポーツ系大学教育に求められるもの——社会が求める人材育成に向けて——
[伊藤 友記]
 - 「生活の体育化」の実践をめざした体育・健康科学理論——5つの体育手段に着目して——
[飯干 明]
 - 体育授業の三元論的・相互干渉モデルの構築をめざして
[根上 優]

体育・スポーツ事情

- 海外だより——ヨーロッパ・スポーツ科学学会 (ECSS) に参加して——
[角南 良幸]
- 大学めぐり——九州工業大学——
[磯貝 浩久]

「体育・スポーツ教育研究」 寄稿規定

2001.3.9 制定

1. 本誌への投稿は、原則として九州地区大学体育連合加盟大学に在籍している者に限る。また、編集委員会が必要と認めた場合には、寄稿を依頼することがある。
2. 投稿内容は、大学における体育・スポーツ・健康の教育研究に関する、総説・原著論文・実践研究・事例報告・研究資料などとし、和文で完結したものに限る。
3. 原稿の掲載可否および掲載の時期は、編集委員会において決定する。
4. 掲載された原稿は、原則として返却しない。
5. 原稿は、原則としてワードプロセッサで作成するものとし、A4判横書き、全角40字20行とする。手書きの場合は400字詰横書き原稿用紙を用いる。本文はひらがな現代かなづかいとし、外国語をかな書きにする場合は、カタカナにする。
6. 原稿は、原則として1篇につき、図表、抄録等を含めて刷り上がり10ページ以内（およそ400字詰原稿用紙で30枚、ワードプロセッサ使用の場合は15枚）とする。
7. 原稿の表紙には、題目・著者名・所属機関を和文と英文で明記する。また、表紙の右下に、総説・原著論文・実践研究・事例報告・研究資料の別と、3語ないし5語のキーワードを明記する。
8. 提出する原稿は、オリジナルとそのコピーの合計3部とする。
9. 挿図原稿は、図中の文字や数字が直接印刷できるように、きれいにはっきりと書く。写真は鮮明な画面のものとする。
10. 図や表には、それぞれに必ず通し番号とタイトルをつけ、1枚ずつ台紙か原稿用紙に貼り、本文とは別に番号順に一括する。図表の挿入箇所は、本文原稿の欄外に、赤でそれぞれの番号によって指示する。
11. 引用文献は、本文の最後に著者名のABC順に一括し、雑誌の場合には、著者・題目・雑誌名・巻号・ページ・西暦年号の順とし、単行本の場合には、著者・書名・版数・発行所・西暦年号・ページの順に記載する。
12. 掲載原稿の費用は投稿者負担とする(1p¥2,000)。但し、所定部数の別刷りを寄贈する。
13. 原稿は、九州地区大学体育連合事務局に送付する。

「体育・スポーツ教育研究」 編集規定

1. 九州地区大学体育連合理事会内に編集委員会を設ける。
2. 編集委員は若干名とし、九州地区大学体育連合会長が委嘱する。
3. 編集委員会は、投稿原稿の採択および掲載の時期を決定する。
4. 投稿原稿の校正は、初校のみ投稿者が行い、以後は編集委員会の責任とする。
5. 掲載内容の決定および変更については、編集委員会で決定する。

編 集 委 員 会

根上 優 (委員長) 齋藤 篤司 磯貝 浩久
山崎 先也 辻本 尚弥 角南 良幸

* 本誌は第一回九州地区大学保健体育研修会報告書(昭和50年)を第1号として、「九州の大学体育・スポーツ(第25号,平成10年度)」を引き継ぐものであり、通巻第33号となるものである。